学校番号	3006

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	文学国語	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	標準「文学国語」（第一学習社）						
副教材等	アシスト常用漢字（数研出版）、漢字とことば（尚文出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけることを目標とします。
・活字に慣れるために普段から読書しておきましょう。
・毎時間教科書を使用します。忘れ物はしないように注意しましょう。
・文章記述やペアワーク、発表など、対話的な授業を行います。
・社会人として必要な国語力を養うために、副教材の「漢字とことば」に取り組みます。
・提出物の期限は守りましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

２　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。

(2) 深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	「るみ子さん」の気持ちが変化する過程を、彼女の身の上に起こった出来事を通して読み取る。 ［教材］ 「調律師のるみ子さん」	a：語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 b[　読　]:内容や構成、展開、場面設定や描写のしかた、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶとともに、解釈の多様性について考察している。 c:登場人物の心情の変化を時間の順序に沿って粘り強く読み取む。	定期考査	定期考査 ワークシート	授業態度 課題物の提出
	表現の特徴が作品に及ぼす効果を考え、人が虎になるという怪異の意味をふまえて作品の主題を考える。 ［教材］ 「山月記」	a:文学的な文章の種類や特徴について理解を深めている。 b[　読　]:作品に関連のある事項について調べ、その成果をまとめたり発表したりする方法を学んでいる。 c:登場人物の行動や心理を粘り強く読み解き、内容や展開を捉えようとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート	授業態度 課題物の提出
	鼻が変化した内供と、彼を取り巻く人々の心理の複雑さを、構成を把握しながら読み解く。 ［教材］ 「鼻」	a:文学的な文章における文体の特徴や表現の技法を理解している。 b[　読　]:作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 c:場面ごとの展開を粘り強く読み取り、登場人物の心情とその変化について理解を深めようとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート	授業態度 課題物の提出
2学期	物事の展開と出来事を整理しながら「私」と「K」それぞれの心情をつかむ。 ［教材］ 「こころ」	a:語句の量を増やし、語彙を豊かにしている。 b[　書　]:読み手の関心が得られるよう、文章の構成や展開を工夫している。 c:指定された場面を、本文とは異なる視点から書き換える活動に積極的に取り組み、解釈を深めようとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート	授業態度 課題物の提出
	詩の中の自然の描かれ方に注目し、「いもうと」と「わたくし」それぞれの心情を考える。 ［教材］ 「永訣の朝」	a：文学的な文章における文体の特徴や表現の技法を理解している。 b[　読　]:語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。 c：繰り返し音読し、積極的に詩の構成やリズムを理解しようとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート	授業態度 課題物の提出

	短歌・俳句を詠んで文体や表現の技法に注意して、人物の心情や情景を描写する方法を学ぶ。 ［教材］ 「テーマを決めて短歌・俳句を作る」	a：言葉には、想像や心情を豊かにするはたらきがあることを理解している。 b[　書　]：読み手の関心が得られるよう、文章の構成や展開を工夫している。 c：教科書に示された短歌・俳句から文体や表現の技法を参考にして、積極的に短歌や俳句を創作しようとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート	授業態度 課題物の提出
3学期	仕事に向き合う態度と友人への思いがどのように変化するか捉え、主人公にとっての「卒業」の意味を考える。 ［教材］ 「卒業」	a：読書の意義と効用を理解している。 b[　読　]：仕事に向き合う態度と友人への思いがどのように変化するか捉え、主人公にとっての「卒業」の意味を考えている。 c：寿々をめぐる人間関係について、共感できる表現を積極的に探し、その理由をわかりやすく発表しようとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート	授業態度 課題物の提出

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　３０　）時間

・読むこと　…　（　１００　）時間